

4.2.25

國際経済新聞報

51 (No. 474)

行發日三廿月二年四和昭

號六第卷十第

(可認物便郵種三第日九月十年九正大)

イングランド銀行利上げ

一九二一年以來の高率たる五分半に改正

ロンドン 二月七日(木)

イングランド銀行は本日公定割引歩合を四歩半より一躍五分半に引上げた。

【備考】過去の同行公定割引歩合は左の通りである。

一九二二年七月十三日	三歩半
二三年七月五日	四歩半
二十五年三月六日	四歩半
二七年四月廿一日	四歩半
二九年二月七日	五歩半

利上げの理由

ロンドン 二月七日(木)

イングランド銀行は七日突如公定割引歩合を一分引上げて五分五厘に改正した。これは約二ヶ年目の改正で、一九二一年以來の高率である。

イングランド銀行の利上げ問題はこゝ一、二日間盛に論議されてゐた。

イングランド銀行の金流出が激増した。これがため利上げを見るべき主張するもの。

一方イングランド銀行總裁ノルマン氏が渡米して金流出對策についてニヨーク聯邦準備銀行當局と商議した結果最近米英為替が急速に回復し六日に得る所があつた。又支那の財政、

ロンドン 二月八日(金)

結果利上げは今直ちに實現せざるべしとするもの。

等があつて、必ずしも意見が一致してゐなかつた。従つて本日の利上げは大分各方面にショックを與へたらしい。實業家は一時に一分も利上げが行はれたことに對し非難してゐるが、然し内外共に思惑へたらしい。實業家は一時に一分も利上げが行はれたことに對し非難してゐるが、然し内外共に思惑へたことは一般に認めてゐる。なほ

熱狂盛の折柄とてこれを抑制するためにはこの利上げの必要であつたことは一般的に認められてゐる。なほ

今回の利上げは産業方面には片手落の觀があるが、當局の目指す目

的が直ちに現はるれば金利は近く再び引下げを見るべしと期待され

てゐる。

△金流出防止策

ロンドン 二月八日(金)

イングランド銀行が金流出防止策として昨七日公定割引歩合を四分半より一躍五分半に引上げ、ニューヨーク聯邦準備銀行割引歩合五分を上廻るに至つたが然らば幾何許りの金流出を見たかといふに

昨年九月イングランド銀行の金準備は一億七千六百五十万ポンドに

上つてゐたが、その後金流出が續き(最初はドイツへ、最近はアメリカへ)爾來五ヶ月間に約二千五百五十万ポンドの金がイングラン

ド銀行より引出された。この事は

備は一億七千六百五十万ポンドに上つてゐたが、その後金流出が續き(最初はドイツへ、最近はアメリカへ)爾來五ヶ月間に約二千五百五十万ポンドの金がイングラン

ド銀行より引出された。この事は

初めは英米為替に大して悪影響を及ぼさなかつた。所が昨秋以來ニヨーヨーク株式市場が驚異的活況を呈し、この結果ニヨーヨークの市中金利が暴騰して來た。ニヨーヨークの金利が暴騰して來た。ニヨーヨークの金利がロンドンよりも著しく高率を維持してゐる限り金の流出は續くものと憂慮されてゐたが、アメリカの株式思惑熱は聯邦準備當局が種々抑制策を講ずるに拘らず一向減退の模様もなかつた

ヨーヨーク聯邦準備銀行では自衛的措置益々堅貴化され、ロンドン銀

行新設、セネラルモータース配當、仲買人貸付高激増、

一月中の銀塊積出高、アダムソンダ銅山會社増配、

ユーローパ航路船建造低資貸付、ギリシャ戰債整理案可決、一月中の生糸集散統計、キューバ航路船建造低資貸付、一月末の製鋼註文残高、

ギリシャ戰債整理案可決、一月中の生糸集散統計、キューバ航路船建造低資貸付、

アダムソンダ銅山會社増配、

一月中の鐵鋼生產高、

本號索引

載するものは省略す

る。

一月中の手形交換高、株式市場の大動搖、

株式取引所臨時休業、

仲買人貸付警告、

仲買人貸付高激増、

一月中の銀塊積出高、

アダムソンダ銅山會社増配、

一月中の鐵鋼生產高、

ユーヨーク株式市場が驚異的活況を呈し、この結果ニヨーヨークの市中金利が暴騰して來た。ニヨーヨークの金利が暴騰して來た。ニヨーヨークの金利がロンドンよりも著しく高率を維持してゐる限り金の流出は續くものと憂慮されてゐたが、アメリカの株式思惑熱は聯邦準備當局が種々抑制策を講ずるに拘らず一向減退の模様もなかつた

ヨーヨークの金利がロンドンよりも著しく高率を維持してゐる限り金の流出は續くものと憂慮されてゐたが、アメリカの株式思惑熱は聯邦準備當局が種々抑制策を講ずるに拘らず一向減退の模様もなかつた

ヨーヨークの金利がロンドンよりも著しく高率を維持してゐる限り金の流出は續くものと憂慮されてゐたが、アメリカの株式思惑熱は聯邦準備當局が種々抑制策を講ずるに拘らず一向減退の模様もなかつた

A4

毎週一回土曜日發行・每號十頁

通貨安定法案可決

ルーマニア上院

アカレスト 二月七日(木)

法案を可決した。この法案は一

イの價値を金十ミリグラムに安定

せしめ、之を即刻實施せんとするものである。

支那復興に關する諸問題討議

萬國商工會議所大會準備委員會開催

商工業的根本問題並に商取引の發

展につき長時間に亘つて意見を交

換したが、支那代表は支那の經濟

復興及び貿易發展は支那が外國と

絶對平等の待遇を受けることによつて促進されるものであることを力説した。

各國の政策變更必要

ナホ委員會

國の支那に對する政策を變更する

會合には中國聯合總商會代表も出

席し、支那政府の豫算均衡、軍事

必要あることを認め、又會頭ビレ

リ氏も極東問題に對し最善の注意

を拂ふ旨聲明した。

【備考】萬國商工會議所は世界四十五ヶ國の商工業者並に商工團體を包羅する有力な經濟機關である。

倫敦金融市況

市況は初め引弛みを呈してゐたが、本日イングランド銀行の利上げで混亂を呈した。手形割引率は利上げに伴ひ硬化した。

○英國銀行週報

	ロンドン	二月七日(木)
公金預金	八、四〇	五、三五
其他預金	一、五〇	一、五五
政府證券	五、四〇	五、五七
其他證券	一、二〇	一、一七
金銀地金在高	三、二〇	二、一七
英蘭銀行(流通高)	五七、五〇	一七、五五
券流通高	一七、五〇	一七、五五
預金準備割合	四六%	三三%
(△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したもの)	三三%	二九%

	二月七日現在(單位千ポンド)	同期年	昨年	一年前
公金預金	八、四〇	五、三五	一、五七	一、五五
其他預金	一、五〇	一、五五	一、五七	一、五五
政府證券	五、四〇	五、五七	五、五七	五、五七
其他證券	一、二〇	一、一七	一、一七	一、一七
金銀地金在高	三、二〇	二、一七	二、一七	二、一七
英蘭銀行(流通高)	五七、五〇	一七、五五	一七、五五	一七、五五
券流通高	一七、五〇	一七、五五	一七、五五	一七、五五
預金準備割合	四六%	三三%	二九%	二九%
(△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したもの)	三三%	二九%	二九%	二九%

ヨーロッパ大陸爲替も大部分急速にボンドに有利に動いた。しかしながらスペインのベセタのみは頗る変動が激しい。支那爲替は浮動。日本爲替は稍や恥りである。

○英國銀行金移動週報

	ロンドン	二月七日(木)
受入高	三五三	三五三
引出高	三五三	三五三
差引總流入	一九、八七	一九、八七
純流出	三九	三九

	ロンドン	二月七日(木)	昨年同期	一年前同期
輸入	三、一九	五、九八	四、四三	四、四三
輸出	五、九七	二、五六	四、八〇	四、八〇
内アメリカ	三、元七	一	一	一
インド	三三	三四	三四	三四
内アフリカ	三、元七	一	一	一
東洋	三、元七	一	一	一
大洋洲	三、元七	一	一	一
南洋	三、元七	一	一	一
北洋	三、元七	一	一	一
西洋	三、元七	一	一	一

	ロンドン	二月七日(木)	昨年同期	一年前同期
紙幣流通高	六、九七	一、八、五五	一、八、五五	一、八、五五
銀塊(在外)	九、五七	一〇、五七	一〇、五七	一〇、五七
金塊(在外)	三、三一	二、九七	二、九七	二、九七
證券(印度政府)	四、三七	四、二八	四、二八	四、二八
為替手形	七〇	八〇	八〇	八〇

	ロンドン	二月八日(金)	昨年同期	一年前同期
紙幣流通高	六、九七	一、八、五五	一、八、五五	一、八、五五
銀塊(在外)	九、五七	一〇、五七	一〇、五七	一〇、五七
金塊(在外)	三、三一	二、九七	二、九七	二、九七
證券(印度政府)	四、三七	四、二八	四、二八	四、二八
為替手形	七〇	八〇	八〇	八〇

	香港	合計
金塊	一、九三	一、九三
銀塊	八、九	八、九
内アフリカ	一、五九	一、五九
ドバイ	五、九八	五、九八
スイス	四、四三	四、四三
内アフリカより	八、三	八、三
ノルウェーより	一〇	一〇
メキシコより	一、一	一、一
ヨーロッパ	一、六九	一、六九
大洋洲	一、五九	一、五九
南洋	一、五九	一、五九
北洋	一、五九	一、五九
西洋	一、五九	一、五九

ニユーヨーク銅相場は本日又復四分の一セント(一封度は付)騰貴して輸出向け、内地向け共十七セント四分ノ三といふ過去九ヶ年來の高値に達した。而して本日の相場引上げは本週に入つてより第三回目のものである。從來輸出相場は内地相場より四分ノ一セント高であつた點より見て輸出相場は間もなく十八セントに引上げられるであらう。

なほ昨日も四分ノ一セント引上げられたのであるが、而もなほ賣手が少い所へ買物が殺到したので本日又復引上げを見たのである。又製銅會社が既に五月中の生産まで全部賣り盡してゐることも相場奔騰の原因である。

ヨーロッパ向け輸出が激増して來たにある。なほ最近の銅相場足取りは左の通りである。

△錫 初め區々であつたが、最近は頗る恥り。而して直渡品に對する消費家の需要は活潑である。

△鉛 稍や落付き、二、三月渡しの商内は見直して來た。

△亞銅 開散、不變。

△安質母尼 落付、目下消費需要は主として小口直積品に限られてゐる。

△ニューヨーク金物相場 二月四日(月)(ヒツツバーゲ渡)

△ニューヨーク銅相場 二月四日(月)(ヒツツバーゲ渡)

△ニューヨーク鉄相場 二月四日(月)(ヒツツバーゲ渡)

△ニューヨーク錫相場 二月四日(月)(ヒツツバーゲ渡)

ニユーヨーク銅相場は本日又復四分ノ一セント(一封度は付)騰貴して輸出向け、内地向け共十七セント四分ノ三といふ過去九ヶ年來の高値に達した。而して本日の相場引上げは本週に入つてより第三回目のものである。從來輸出相場は内地相場より四分ノ一セント高であつた點より見て輸出相場は間もなく十八セントに引上げられるであらう。

ヨーロッパ大陸爲替も大部分急速にボンドに有利に動いた。しかしながらスペインのベセタのみは頗る変動が激しい。支那爲替は浮動。日本爲替は稍や恥りである。

○英國銀行週報

	ロンドン	二月七日(木)
公金預金	八、四〇	五、三五
其他預金	一、五〇	一、五五
政府證券	五、四〇	五、五七
其他證券	一、二〇	一、一七
金銀地金在高	三、二〇	二、一七
英蘭銀行(流通高)	五七、五〇	一七、五五
券流通高	一七、五〇	一七、五五
預金準備割合	四六%	三三%
(△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したもの)	三三%	二九%

	ロンドン	二月七日(木)
受入高	三五三	三五三
引出高	三五三	三五三
差引總流入	一九、八七	一九、八七
純流出	三九	三九

	ロンドン	二月七日(木)
輸入	三、一九	五、九八
輸出	五、九七	一〇、五七
内アメリカ	三、元七	一
インド	三三	三四
内アフリカ	三、元七	一
東洋	三、元七	一
西洋	三、元七	一
北洋	三、元七	一
南洋	三、元七	一

	ロンドン	二月七日(木)
紙幣流通高	六、九七	一、八、五五
銀塊(在外)	九、五七	一〇、五七
金塊(在外)	三、三一	二、九七
證券(印度政府)	四、三七	四、二八
為替手形	七〇	八〇

	ロンドン	二月七日(木)
輸入	三、一九	五、

○アナコンダ

銅山會社の増配

ニューヨーク 二月五日(火)

アナコンダ銅山會社は本日第三度目(一ヶ年間に)の増配を發表し

て市場を驚かした。今回の發表は

昨年第四期、即ち十、十一、十二

月中に對するもので、その配當率

は一ドル七十五セント(五十ドル

に付)で支拂は三月廿九日現在の

株主に對して行はれる事になつ

てゐる。この報道が株式市場に傳

はるや俄然アナコンダ株に買物殺

到し相場は三ドル近く奔騰して百

二十九ドル四分ノ一といふ未會有

の高値に達した。

又輸出銅相場が本日又復四分ノ

一セント方引上げられ十七セント

半といふ高値を示したことアナ

イギリスの

對露貿易回復

近く製造業者代表を

ロシヤへ派遣に決す

ロンドン 二月五日(火)

イギリス貿易業者は近來對露貿

易發展に腐心しつゝあるが對露

出貿易に關係ある著名な製造業者

及び關係者は本日ロンドンに會合

して滿場一致を以て三月八日以前

にイギリス製造業者の代表をロシ

アに派遣して調査折衝を行はしめ

ることを決議した。

△關係工業好景氣期待▽

ロンドン 二月六日(水)

イギリス製造工業關係者は對露貿易發展のため代表者をロシヤに派遣するに決したが、これに關與の電氣その他公益事業にして今後

コンダ其他銅株奔騰の原因である

(備考) 昨年來銅相場の暴騰により銅會社は如何も有卦に入り、アナコンダの如きは左の如く増配してゐる。

昨年第一期配當額

第三期同

第二期同

第一期同

即ち昨年の配當率は一割に當る。同社の配當率は一九二五年以來毎期引續き七十五セントであつた。なほ最近の相場の足取りを示すと左の通りである。

昨年二月五日 一ドル六分五

本年一月廿三日 一ドル五分

二月二日 一ドル六分七

五月 一ドル六分一

英國金物市況

ロンドン 二月八日(金)

今週の市場は取引活潑で氣配も

旋りになつた。然し七日(木)には

ユーワース・スチールの

製銅註文殘高

一月廿三日 三元・四分一

英國棉花市況

ニューヨーク 二月九日(土)

鐵鋼生産高

一月 三元・四分一

鐵塊生産高

一月 三元・四分一

コンダ其他銅株奔騰の原因である

(備考) 昨年來銅相場の暴騰により銅會社は如何も有卦に入り、アナコンダの如きは左の如く増配してゐる。

昨年第一期配當額

第三期同

第二期同

第一期同

即ち昨年の配當率は一割に當る。同社の配當率は一九二五年以來毎期引續き七十五セントであつた。なほ最近の相場の足取りを示すと左の通りである。

昨年二月五日 一ドル六分五

本年一月廿三日 一ドル五分

二月二日 一ドル六分七

五月 一ドル六分一

英國棉花市況

ロンドン 二月八日(金)

今週の市場は取引活潑で氣配も

旋りになつた。然し七日(木)には

ユーワース・スチールの

製銅註文殘高

一月廿三日 三元・四分一

英國棉花市況

ニューヨーク 二月九日(土)

鐵鋼生産高

一月 三元・四分一

鐵塊生産高

一月 三元・四分一

コンダ其他銅株奔騰の原因である

(備考) 昨年來銅相場の暴騰により銅會社は如何も有卦に入り、アナコンダの如きは左の如く増配してゐる。

昨年第一期配當額

第三期同

第二期同

第一期同

即ち昨年の配當率は一割に當る。同社の配當率は一九二五年以來毎期引續き七十五セントであつた。なほ最近の相場の足取りを示すと左の通りである。

昨年二月五日 一ドル六分五

本年一月廿三日 一ドル五分

二月二日 一ドル六分七

五月 一ドル六分一

英國棉花市況

ロンドン 二月八日(金)

今週の市場は取引活潑で氣配も

旋りになつた。然し七日(木)には

ユーワース・スチールの

製銅註文殘高

一月廿三日 三元・四分一

英國棉花市況

ニューヨーク 二月九日(土)

鐵鋼生産高

一月 三元・四分一

鐵塊生産高

一月 三元・四分一

コンダ其他銅株奔騰の原因である

(備考) 昨年來銅相場の暴騰により銅會社は如何も有卦に入り、アナコンダの如きは左の如く増配してゐる。

昨年第一期配

